

令和6年度 第1回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）

開催日時	令和6年8月22日（木）14時30分～16時10分
開催場所	平塚市中央図書館3階ホール
出席者	委員 西田 洋平 会長 久保田 幸子 副会長 設楽 純江 委員 渡邊 容子 委員 森谷 芳浩 委員 甲木 なな子 委員 事務局 石川 社会教育部長 藤田 中央図書館長 熱田 管理担当長 仁和 奉仕担当長 長沼 中央図書館窓口業務委託業務責任者 小泉 北図書館長 落合 西図書館長 市楽 総括責任者兼南図書館長 西海 奉仕担当主管 関山 管理担当主査 渡邊 管理担当主査
欠席者	なし
傍聴人	3名

図書館協議会委員の交代について

事務局より、図書館協議会委員の交代の報告があった。高橋浩也委員の解任（定年退職）があり、平塚市立中学校長会から推薦のあった渡邊容子委員が任命された。この委員の解任及び任命については、令和6年5月31日に開催された令和6年度教育委員会5月定例会で承認されている。渡邊委員の任期は、前任者の残任期間を継承するため、令和7年7月31日までとなる。

2 議 事

（1）報告事項

ア 事業報告

- （ア）令和6年度平塚市図書館費歳入歳出予算の概要
 - （イ）平塚市図書館全体事業
 - （ウ）令和6年度事業計画（中央図書館・地区図書館）
- 事務局から資料の説明

【 会 長 】	こども向け図書館だより「こどもきいぷ」は各学校で配布されているか。
【 事 務 局 】	各学校に配布している。学校内の図書室等に置いていただいている。
【 副 会 長 】	子ども読書活動推進計画策定のための委員とはどういう方が対象なのか。
【 事 務 局 】	5人の委員からなる懇話会を設置している。学校の先生、学識経験者などが対象で、公募で選考はしていない。
【 委 員 】	配架、書架整理、図書修理等のボランティアの参加者はどの程度か。
【 事 務 局 】	現在開催中であるが、南図書館では各回定員5名のところ約2名以上の参加がある。
【 委 員 】	赤ちゃんタイムは赤ちゃんおはなし会があるときだけ実施しているのか。
【 事 務 局 】	基本的に、赤ちゃんおはなし会の開催している前後の時間帯で、掲示により協力の呼び掛けをしている。
【 委 員 】	平塚駅東側改札口付近の図書返却ポストは回収量がどのくらいあるのか。
【 事 務 局 】	平塚駅の図書返却ポストは木曜日以外、午前と午後に回収しているが、回収

	のかごがいっぱいになっている。平塚駅の図書返却ポストの冊数データによる割合も大きく、改めて説明する。
【 会 長 】	子ども読書活動ネットワークにおける表彰は、こういった点が評価されたと考えているか。
【 事 務 局 】	各地区で活動しているボランティア相互の連携、コミュニケーションをはかるための取組という部分が評価されたと考える。
【 会 長 】	一日図書館員は参加申込が多い。こういった広報手段をとったのか。
【 事 務 局 】	図書館ホームページや広報ひらつか、館内のポスター掲示、また市内全小学校へポスター掲示と申込用紙の配布依頼を実施した。
【 会 長 】	地区図書館では、地域行事への参加に取り組んでいるが、地域と連携をする上でこういったアプローチをしているのか。
【 事 務 局 】	南図書館であれば、なぎさふれあいセンターという複合施設の中にあり、その登録団体と連携した展示を実施した。まず、その地域の団体にこちらから働き掛けるのが重要だと考える。西図書館でも、地域の方に講師として講座を開催してもらうなど、地道な活動を通じて継続的な働き掛けをしている。

イ 状況報告

(ア) 中央図書館改修の実施 事務局から資料の説明

【 委 員 】	工事期間中の中央図書館は休館となるのか。
【 事 務 局 】	令和8年度の夏頃から、中央図書館は休館となり、令和9年度の2月頃には、工事後の供用開始となる予定。
【 会 長 】	休館中でも、中央図書館の資料は貸し出しが可能なのか。
【 事 務 局 】	中央図書館の資料は貸し出しができない。資料は別の場所へ移転することとなる。
【 委 員 】	保管された資料を取り寄せることはできないのか。
【 事 務 局 】	取り寄せることはできない。
【 委 員 】	休館中は、中央図書館の資料は凍結されるイメージだと理解した。
【 副 会 長 】	休館中は、受取窓口を作るのか。
【 事 務 局 】	博物館の空きスペースを活用して、臨時窓口を設置する予定となる。臨時窓口において、図書館サービスを継続する。
【 副 会 長 】	中央図書館の休館中は、貸し出しできる資料は、各地区図書館で所蔵されている資料のみとなるのか。
【 事 務 局 】	基本的にそうなると考えてよい。
【 委 員 】	市外の図書館から取り寄せる方法もあると思う。
【 委 員 】	休館中、中央図書館の資料の貸し出しができない点について、不満に思う市民が出てくるのではと懸念している。
【 事 務 局 】	休館中、移転させている中央図書館の資料を取り出すことは物理的にできない。書架で保管するのではなく、段ボール箱に詰めて、何段にも重ねて保管することとなる。
【 委 員 】	外部書庫から必要な資料を取り寄せる仕組みを作るとすると、その分コストがかかる。

【副会長】	資料のリクエストをしたとき、地区図書館に所蔵があれば、そこから取り寄せて、受け取りは臨時窓口で行うことは可能だと理解した。ただ、地区図書館に所蔵がなければ、借りられない。休館中は、中央図書館の資料は一切触れることができないという理解でよいのか。
【事務局】	そうした理解で良いと考える。

(イ) 南図書館改修の実施
事務局から資料の説明

【会長】	南図書館も、中央図書館と同様に、休館中は所蔵している資料の貸し出しはできないのか。
【事務局】	そのとおりである。
【会長】	南図書館と中央図書館の休館は重ならないのか。
【事務局】	休館期間は重ならない。

(ウ) 地域の読書環境整備
事務局から資料の説明

【副会長】	移動図書館とは、あおぞら号を指すということか。
【事務局】	そのとおりである。
【副会長】	貸し出し作業は既に図書館で実施済であるため、公民館の職員によるシステム処理などは不要であると理解した。
【委員】	車で各公民館に運ぶということか。
【事務局】	よい。毎週、返却ポストに回収へ行く委託業者が、公民館の職員へ渡す。
【委員】	あおぞら号は完全に廃止ということになるのか。
【事務局】	移動図書館ステーションはすべて廃止になる。あおぞら号そのものの取り扱い検討中。
【会長】	令和6年度は、移動図書館ステーションの廃止箇所と、予約受取拠点開設が対応しているようだが、令和7年度も同様の予定なのか。
【事務局】	令和7年度は、対象地区に公民館が無いところもあるが、できる限り、同様の方針で、予約受取拠点を開設したいと考える。ただ、地域の関連施設などと協議しながら、検討しないといけない。

(エ) 図書館システム更新
事務局から資料の説明

【委員】	システム更新のリース期間は5年間だと思うが、今年度の予算は更新費用が主となる。来年度以降の費用は増えるのか。
【事務局】	増えると想定しているが、物価や人件費の上昇によるもので、新システムに変わったことによるものではない。
【会長】	データ移行は順調にいくのか。
【事務局】	現在のシステム業者と新しいシステム業者が円滑に連携し、滞りなくデータ移行が完了するようにお願いしているところ。

【副会長】	新システムと変わる際、現在の図書館カードは変更するのか。
【事務局】	図書館カードは変わらないが、ホームページはリニューアルされる。
【委員】	新システムでは資料を貸出するときレシートを打ち出せるようにしてほしい。
【事務局】	レシートに印字する機能は新システムにもある。ただし、用紙代の費用が大幅にかさむことから、費用対効果を考えて検討するところになる。
【委員】	貸出資料を打ち出したレシートは利用者にとっても便利なので、ぜひ検討をお願いしたい。

(オ) 平塚市子ども読書活動推進計画（第5次）骨子案
事務局から資料の説明

【会長】	作業部会と懇話会の結果をまとめたものと考えてよいか。
【事務局】	今年度も、作業部会と懇話会を同時に開催し、共有している結果として、現在の状況としてまとめている。
【委員】	23ページの重点取組3子どもの視点に立った読書活動の推進に当たり、子どもの意見を取組に反映させると記載されているが、具体的にはどういった方法で反映させるのか。
【事務局】	図書館のイベントに参加した子どもたちを対象にアンケートをとるなどして、実際に生の声を聴取して、それを反映するようなイメージである。
【会長】	23ページの「第5次計画の目標」に、割合や件数が書いてある。確定版になった際は、割合や件数に数字が示されるということによいか。
【事務局】	具体的な数値はまだ確定していないが、設定した数字を示す予定。

(2) 今期の重点協議事項の検討

ア 学校図書館との連携

(ア) 学校司書や図書ボランティアとの連携強化

(イ) 児童・生徒に電子図書館への関心をもってもらうための工夫

事務局から資料の説明

【副会長】	25ページの学校図書館との連携について、特に中央図書館とボランティアの連携という部分で、コロナ禍以降、活動の場が減ってきている。学校の考え次第で、活動拠点となる学校での活動ができなくなっている。平塚市としても、子ども読書活動を推進している以上、連携に関して、学校側への積極的な呼び掛けなどの協力を期待している。学校側としては、ボランティアとの関わりをどう考えているのか訊きたい。
【委員】	中学校としては、関わりについてはぜひやっていただきたいと考える。
【副会長】	全く活動が無くなってしまった中学校もある。無理やり、関わってほしいとは言えないが、学校ごとに温度差がある。
【委員】	小学校では、コロナ禍以降、徐々にではあるが、ボランティアとの活動が戻りつつある印象はある。
【会長】	学校ごとに考え方が異なるようだ。各学校の関係者が集まって、情報交換の場があれば、他の学校の状況が把握できる。ぜひ、現実化してほしい。
【委員】	26ページや27ページでは、電子図書館の閲覧数で自然科学が飛びぬけて

	多いのには理由があるのか。
【 事 務 局 】	図鑑などの調べものに関して、利用が多いと認識している。危険生物に関する内容など、人気があると聞いている。
【 委 員 】	人気のあるジャンルに集中しているようなので、今後の購入計画の判断基準にしてほしい。
【 委 員 】	小学校では、図鑑をいくつも購入することができないので、子どもたちが同時に閲覧できるという点で活用しているのではと考える。朝の読書の時間や調べもの学習で閲覧している。今後は、読み放題パックの種類が増えれば、もっと活用の幅が広がる。

イ 平塚市図書館全体の効果的な運営

(ア) 各返却場所の比較検討データ

(イ) 駅前予約図書受取所の利用状況

事務局から資料の説明

【 会 長 】	駅前予約図書受取所は、期待していたように夕方の利用が若干多い。
【 事 務 局 】	夕方１７時以降の利用が多い。
【 副 会 長 】	移動図書館が廃止するのに当たり、公民館などで受取ができるようになる予定だが、その場合、そこにいる職員で対応するという事なのか。
【 事 務 局 】	駅前予約図書受取所では、去年度は図書館の会計年度職員が従事していた。今年度から市民課の職員が共同で行っている。
【 副 会 長 】	戸籍の事務や、予約図書の対応をやるということか。予約図書の受け渡しだけを担当する方がずっと一日中いるのとは違うということか。
【 事 務 局 】	交代制で柔軟に対応している。
【 副 会 長 】	本来あるべき体制の姿であり、とても素晴らしい。
【 事 務 局 】	来年度以降、駅前予約図書受取所にどれだけの利用者が流れるかによって、今の体制で維持できるかどうか検討しないといけない。
【 委 員 】	駅前予約図書受取所では、その場で貸し出しはできるのか。
【 事 務 局 】	システムは整備しているが、現在は予約した図書の受取のみとなる。
【 会 長 】	では、この二点に関しては、本日いただいた御意見御質問などを含めて、また協議していきたい。
【 会 長 】	では、全体を通して意見質問があるか。マイナンバーカードを使った貸し出しを検討しているという説明があった。しかし、嫌がる方もいると思うので、少なくともそれだけしか方法が無いという状況を作るのは慎重に判断してほしい。
【 事 務 局 】	検討している中での選択肢の一つとしており、意見を踏まえて検討したい。

3 その他

(1)今後の予定

令和６年度第２回平塚市図書館協議会は、令和６年１１月７日（木）１４時３０分から１６時、平塚市中央図書館３階ホールで開催予定。改めて通知する。

閉 会